

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (4 1)

団体名	(特非)姫路コンベンションサポート	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 石井 恵美
事業名	播磨国歴史ガイド団体育成事業			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で 記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月10日	兵庫県立歴史博物館	33 30(3)	講義「中世播磨山城と城館」講師：姫路市埋蔵文化財センター多田暢久氏、参加者交流（自己紹介）
8月7日	兵庫県立姫路労働会館	24 21(3)	午前「活動の継続と若い世代の役割」奈良県高取町観光協会 吉田浩司氏 他地域の団体の運営事情を談話形式で聞き、グループワークも実施 午後「地域の魅力と活動を発信！SNS講座」姫路コンベンションサポート依田法子
9月11日	中道子山城 (加古川市)	23 21(2)	講師 姫路市埋蔵文化財センター 多田暢久氏による実地研修
9月25日	兵庫県立姫路労働会館	20 17(3)	ワークショップ「播磨国ネットワークを今後にかそう」講師：小笹雄一郎氏（加古川 NPO法人シミズシーズ）
10月～11月	合同パンフレット作成		参加団体を一覧で掲載したA4巻き3つ折りパンフレット1000部印刷。参加団体が実施するツアーイベントでの配布、観光協会や歴史博物館で配架。

< 効果と成果 >

広域でのガイド団体同士の交流と研修はこれまでになく、このような場を待っていたとの声を参加者から多く頂いた。

第2回の他地域の観光協会の話では実体験を中心とした具体的な話を聞いて、講座後に自団体でできることを早速実行したりSNS講座をきっかけにインスタグラムを始め、参加団体同士の繋がりもできた。

最終回となる第4回では、これまでの講座や実践した取り組み、自団体で目指したい方向性などを確認しながら、今回できた繋がりを活かして今後できること、今すぐできることなどを中心にグループワークを行った。

今すぐできることとしてLINEのオープンチャットをその場で作成し、参加者が加入。参加団体のイベント情報や意見交換の場として利用していくこととなった。現在もそれぞれがイベント告知を行い、他団体の活動に参加したり、近い地域で活動する複数の団体が一緒に活動するなど交流が続いている。全4回の講座を通して、参加者から「横の連携は大切」、「活動資金源となる自主事業の必要性を感じ」という感想を多く頂いた。

参加者・団体同士の交流が深まり、「播磨」という枠での一体感が生まれたように感じている。

<今後の展望>

どの団体も人材不足や高齢化など同じ悩みを抱えながら、よりよくしていきたい、お客様に喜んでもらいたい、自分たちの地域をもっと知ってもらいたいという熱い思いを持っており、お互いに良い刺激を受ける関係が生まれたと感じる。

また、自団体だけではできないことが、今後連携によって新しいことができる可能性を感じた。事業終了後も続く繋がり、を目標として実施したこの事業は、これで終わりではなくスタートであると最終回で呼びかけた通り、これで終わってしまったては意味がない。

お互いの活動を応援しながら、播磨全体としてガイドの資質向上と連携が深まるよう、サポートしていきたい。

また、参加者募集の際に分かったガイド不在の地域については、地域の枠を超えたガイド派遣や、地域全体での人材育成の必要を感じた。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	350,000
自己負担金等	24,235
合 計	374,235

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	講師謝金	43,000	43,000
	旅費交通費	5,900	5,900
	会場使用料	28,439	27,400
	その他(人件費等)	276,696	263,700
	小 計	354,035	340,000
	間接経費(一般管理費)	20,200	10,000
	合 計	374,235	350,000